

# 生涯学習だより



## 夢心～「夢ふくらます【はる】……ふくらむ夢と希望」

～かみしほろの健やかな育ち～

年間テーマ 「ささえあいの地域づくり」

### 『ささえあい』を取り上げるにあたって

今年度の生涯学習だよりは、「ささえあいの地域づくり」をテーマとして、年4回発行していきます。

近年、地域の絆が希薄になつて、都市化が進んでいると呼ばれてています。隣近所に住んでいる人の顔がわからない、地域で行われている行事がわからないなど地域の活動のマンネリ化や活動の継承者が少ないとの声もあげられています。その一方、おとしよりや子どもたちを「地域全体で支えていく」ことが必要であるともいわれています。

町としては、「地域包括ケア」を今までより推進しようとしています。「地域包括ケア」とは、医療、介護、生活支援、予防、住まいなどの分野で、医療機関、社会福祉法人、地域住民、行政が連携してみんなで支え合うことをいいます。また、協働するまちづくりのパートナーとしてのボランティア、アダプト、町内会、NPOなどの活動は、これからますます必要となつていきます。

のことから、今年度の生涯学習だよりでは、地域でいろいろな「ささえあい活動」を行つていて、方々にスポットをあて、みなさん紹介していくこと考えています。今後の生涯学習だよりについては、次のような内容を取り上げたいと考えています。

9月号：レスキュー・キッキンによる炊き出し、子どもの活

#### 動

12月号：文化、スポーツの活動  
3月号：上士幌町の「ささえあい活動」の現状とこれから

ここに記載した内容については予定ですでの、変更になることもあります。ごぞいいますがご了承ください。

また、生涯学習だよりに取り上げてほしい地域の個人・団体の活動や行事などありましたら、お気軽にお近くの生涯学習情報委員・教育委員会事務局にお声掛けください。



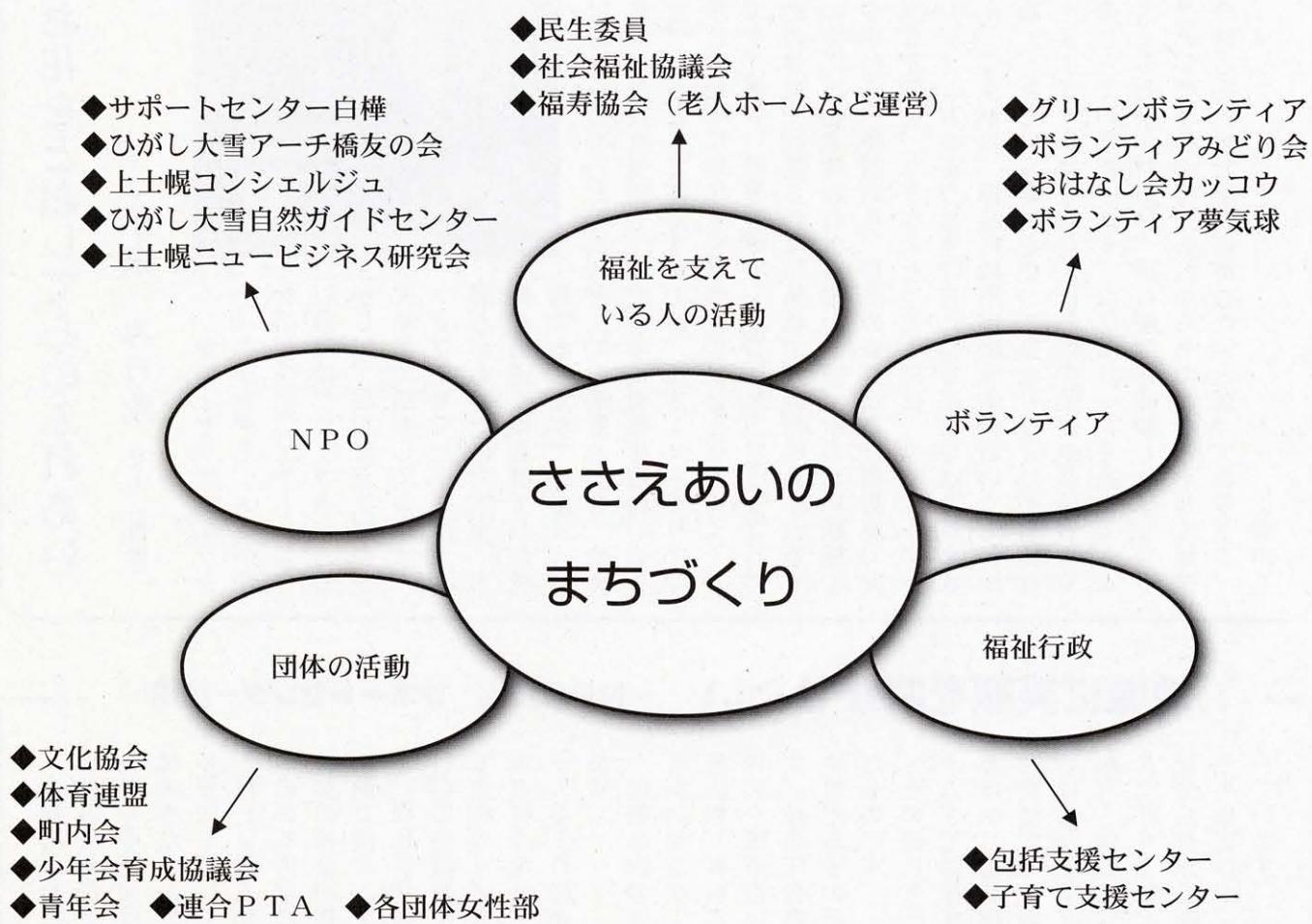
後列左から春口委員、根本委員、大友委員、成田委員、  
前列左 田中副委員長、右 斎藤委員長

### ◎生涯学習情報委員紹介◎

本年度の生涯学習情報委員はこの6名で活動していきます。

みなさまのところにも取材のお願い、寄稿のお願いにおうかがいすることもあると思いますが、よろしくお願ひいたします。

## かみしほろ ささえあいのまちづくり図



\*ここにあげた団体や組織は一例です。

このほかにもたくさんの人たちが、かみしほろのささえあいをサポートしています。



二ペソツ山（2,013m）は上士幌町と新得町の境界に位置し、町内で最も標高の高い山として知られています。また標高2,000mを超える山の中では、日本最東に位置します。荒々しく険しいその山容は、今から約3万年前に幾度となく噴火を繰り返し、溶岩や火碎流を放出してきた歴史を物語っています。火山によってつくられたこの山には、氷河期の生き残りといわれるエゾナキウサギや可憐な花を咲かせる高山植物が見られることでも知られ、毎年道外から多くの登山者が訪れる人気の山のひとつです。

そんな二ペソツ山ですが、標高と西暦が一致する「標高年」を今年迎えることになりました。上士幌町では、二ペソツ山標高年に因んで様々なイベントを開催してきました。5月18日（土）には登山家の栗城史多氏による講演会を開催しました。そしてこれらの登山シーズンに向けて、二ペソツ山登頂証明書を今年一年限定で発行いたします。登頂証明書はひがし大雪自然館とぬかびら源泉郷の各宿で発行いたしますので、登山の思い出にしてはいかがでしょうか。

（乙幡）

### (元)情報委員のおすすめスポット

# 私流の生涯学習

お花をとおして心のふれあい

小泉 みりゑさん（豊岡）



フラワーセラピーボラン

ティアリーダー、メンタル  
ケアスペシャリストとして、  
以前にはグループホームむ  
かし館、現在は元気びんび  
ん教室で活動しています。

フラワーセラピーには大変  
関心があつたのですが、当  
時北海道では札幌でしか受  
講することができなく、半  
ばあきらめていたところ帯広での開催を聞き、約一  
年間にわたり受講し、平成16年に資格を取得しまし  
た。花材として使用するのは、西オーストラリアの  
半乾燥地域に自生する野生の花「ワイルドフラワー」  
です。厳しい環境で適応し、進化してきたその花は、  
他の地域では見られない植物で、野性味あふれるそ  
の姿には心を奪われてしまいます。水のない状態で  
半年から一年間生き、自然の香りがあり無農薬で安  
全な花です。フラワーセラピーには、フラワーアレ  
ンジメントのような生け方に型や決まりはありません。  
ですから、作品には不出来や失敗というものが  
なく、花という素材を使ってひとりひとりが自由な  
イメージで作品を作り上げるので幼児や高齢者まで  
楽しんでいただけます。なにより、花を通して人と  
人の心がふれあい、同じ瞬間を体験し共感し合う  
ことができるのです、これからもお花をとおして地域  
の皆さんとつながりを持ちたいと思つております。

（成田）

## 地域に笑顔を咲かせたい ~NPO法人 サポートセンター白樺~

今年もふれあいプラザや役場の入口周辺が  
きれいなお花で明るくなりました。このプラ  
ンターや花壇は、毎年、サポートセンター白  
樺のみなさんが設置から水やり・草取りなど  
の管理を行つています。

NPO法人サポートセンター白樺は、障が  
いのある方などに対しても活動の場、社会  
参加の機会を提供する場として、町から地域  
活動支援センターの委託を受け活動していま  
す。現在は10名の利用者が登録しており、  
11名の支援員のもと、各種教室や活動を通し  
て生活のリズムを整えたり、自立に向けた訓  
練を行うなど、自分らしさを發揮できるよう  
一人ひとりの希望に合わせた支援を行つてい  
ます。

活動の内容は、さをり織教室や革教室、生

きがいセンターでの陶芸教室などの創作・生  
産活動、有料ごみ袋の管理・配達作業、役場  
周辺や国道沿いの花壇整備などを行つていま  
す。役場庁舎内・ふれあいプラザにある気球  
や雪だるまのモビールは、活動の中を作成し  
たものです。

その他にも、すずらん荘（特別養護老人ホ  
ーム）では徐草作業を業務として請負つてい  
るほか、出前喫茶も月6回行つておらず、営業  
時間になるとホール内は沢山の笑顔でいっぱい  
になります。町のお祭りには、利用者の方  
が自ら店頭に立ち作製した革小物やビーズア  
クセサリーなどの販売を行い、町の方との会  
話や自分が心を込めて作った商品を買つても  
らえる喜びが、創作活動への意欲にもつなが  
っています。



（春口）

先日、上土幌中学校の全校生徒、保護者  
の方、地域の方と一緒に中学校前のふれあ  
い花壇の花植えが行われましたが、その際  
もサポートセンターでは整地や位置出しな  
どの準備を行い交流しました。

利用者の方はそれぞれの障がい特性を持  
っていますが、力仕事・草取り・丁寧な仕  
事など、みなさんそれぞれ素晴らしい得意  
なことを持っています。サポートセンター  
では、その一人ひとりの得意な部分を生か  
しながら役割分担をして日々活動していま  
す。このような「一人ひとりの得意な部分  
を生かしながら役割分担する」心を広げて、  
より笑顔を増やしていくかと思ったらと思つていま  
す。

# ✿かみしほろ花マップ✿

～アダプトプログラムなどで町民の方々が整備した花壇の場所を掲載しました～



すずらん荘



旧六差路周辺



生涯学習センター前



地域道路沿い

アダプトプログラムとは…

アダプトとは「里親」のことです。  
町の中の道路や花壇、公園などを  
里親のようにお世話していく活動  
のことを「アダプトプログラム」  
と呼んでいます。

このほかにも、町内で

- 農協婦人部
- 林野関連退職者の会上土幌支部  
等の団体や家族・個人が  
花壇の整備を行っています。